



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和8年6月25日
7月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

体験が子どもを育てる夏に

校長 すとう よしひで
須藤 善秀

梅雨空の合間に夏の日差しを感じる季節となりました。子どもたちは校内での学習はもとより、宿泊行事や校外学習などの体験活動を通して、多くの学びや気づきを得ながら少しずつ成長しています。また、仲間と協力し合う経験を重ねる中で、思いやりの心や主体的に行動する力も育まれています。

さて、前期が始まって三か月が過ぎようとしています。子どもたちは新しい学年や学級での生活に慣れ、自分の役割を果たしながら日々の学校生活を送っています。授業や行事、委員会活動などに真剣に取り組む姿から、この数か月の確かな成長を感じています。

まもなく始まる夏休みは、子どもたちにとって大きく成長するための貴重な学びの場です。学校では、日々の学習を通して学ぶことに加え、体験を通じた学びを大切にしています。子どもたちは実際に見たり、聞いたり、触れたり、人と関わったりする中で感動し、考え、自ら学ぶ力を育んでいきます。

夏休みには、ぜひ多くの体験活動に挑戦してほしいと思います。豊かな自然に触れること、家庭での役割や責任を果たすこと、読書やものづくりに取り組むことなど、日常とは異なる経験の中に、子どもたちの成長の機会があります。実際に見て、聞いて、感じる活動は、教室での学びをより深いものにするとともに、新たな発見や感動を生み出します。こうした経験の積み重ねが、広い視野や豊かな感性を育み、子どもたちの大きな成長につながることでしょう。

また、夏休みは地域とのつながりを深める絶好の機会でもあります。地域で行われる祭りや伝統行事、清掃活動やボランティア活動などには、ぜひ積極的に参加してほしいと思います。地域には、長い年月をかけて受け継がれてきた文化や知恵、人と人との温かなつながりがあります。そうした経験を通して、自分たちの住む地域のよさを知り、郷土を愛する心や社会の一員としての自覚を育ててほしいと思います。

このような様々な体験や地域との関わりを充実したものにするためには、安全への意識を高めることも大切です。交通ルールや水辺での過ごし方に気を付けるとともに、熱中症対策にも十分心掛けてほしいと思います。また、インターネットやSNSの利用については、ルールやマナーを守り、相手を思いやる気持ちを大切にしてほしいと願っています。ご家庭でも、夏休みの過ごし方について話し合う機会を設けていただければ幸いです。

前期も折り返しの時期を迎えました。子どもたちには、これまでの学びを振り返るとともに、夏休みにどのようなことに挑戦したいのかを考えながら過ごしてほしいと思います。そして、夏休みが多くの体験や人との出会いにあふれ、一人一人の成長につながる充実した期間となることを願っています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き子どもたちへの温かい見守りとご支援をよろしくお願いいたします。